

めぐみイエス・キリスト教会

2020年1月26日(日) 第四主日礼拝
週報「通算第491号」



2020年標題聖句

第I テサロニケ5章16節～18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年1月26日 第四主日礼拝
第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時

司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

- 【前奏祈祷】
- 【賛美Ⅰ】 新聖歌183「悩める人々」 p. 266
- 【交読文】 No.48 イザヤ書第35章 p. 917
- 【賛美Ⅱ】 新聖歌282「見ゆるところによらず」 p. 450
- 【使徒信条】
- 【主の祈り】
- 【先週説教】
- 【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.11 「ラザロ」
- 【聖書朗読】 ヨハネの福音書21章1節～11節
- 【祈 禱】
- 【説 教】 《再びガリラヤへ》 鈴木 竜実 牧師
- 【聖 餐 式】
- 【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235
- 【平和祈り】
- 【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85
- 【祝祷後奏】

●ポイント1. 主イエス様の弟子たちへの最初の命令とは何か？

※マタイの福音書28章9節～10節「ガリラヤに行くように」(新約p.64)

28:9 すると見よ、イエスが「おはよう」と言って彼女たちの前に現れた。彼女たちは近寄ってその足を抱き、イエスを拝した。

28:10 イエスは言われた。「恐れることはありません。行って、私の兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこで私に会えます。」

●ポイント2. ペテロが体験した最初の奇跡とは何か？

※ルカの福音書5章4節～9節「一度目の大漁」 (新約p.177)

5:4 話が終わるとシモンに言われた。「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい。」

5:5 すると、シモンが答えた。「先生。私たちは夜通し働きましたが、何一つ捕れませんでした。でも、お言葉ですので、網を下ろしてみましよう。」

5:6 そして、そのとおりにすると、おびただしい数の魚が入り、網が破れそうになった。

5:7 そこで別の舟にいた仲間の者たちに、助けに来てくれるよう合図した。彼らがやって来て、魚を二艘の舟いっばいに引き上げたところ、両方とも沈みそうになった。

5:8 これを見たシモン・ペテロは、イエスの足もとにひれ伏して言った。「主よ、私から離れてください。私は罪深い人間ですから。」

5:9 彼も、一緒にいた者たちもみな、自分たちが捕った魚のことで驚いたのであった。

●ポイント3. この出来事から、私たちが学ぶべきこととは何か？

※マタイの福音書6章31節～34節「山上の垂訓から」(新約p.11)

6:31「ですから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、心配しなくてよいのです。

6:32 これらのものはすべて、異邦人が切に求めているものです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。

6:33 まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。

6:34 ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。苦労はその日その日に十分あります。」

◎先週のメッセージの概要【2020年標題聖句そのⅢ(18節)】

《「すべての事について、感謝しなさい。」と、使徒パウロは勧めます。感謝出来ることを感謝することは、ノン・クリスチャンの方であっても出来ることであると思われれます。しかし、私たちの住んでいるこの日本は、感謝の言葉よりも、多くの不平・不満や人を裁く言葉が、何と巷に満ちあふれていることでしょうか。私たちは、どうでしょうか。この世の流れに流されてはいませんか。私たちは、主の十字架とその流された血潮によって、この世から取り出され、罪赦され、罪の支配から解放された者です。よって、まだ暗闇の中を歩んでいる人々とは、異なった生き方をすべきです。

つまり、私たちの心の奥底が、まことの「感謝」に満ちあふれている必要があるのです。その感謝とは、神様の恵みに対する感謝なのです。『主に感謝せよ。主はまことに慈しみ深い。その恵みはとこしえまで。』

すべては恵みです。私たちのすべてが、神様から与えられたものであり、また委ねられたものです。神様の恵みを感謝出来る者こそが、周りの人々に対して、まことの感謝の言葉を投げかけることが出来るのです。

さて次は、感謝出来ないことを感謝することについて考えて見ましょう。つまり怒りや苦しみや悲しみしか出てこない事柄についても、私たちは感謝しなければならないことを教えています。「そんな事は出来ない」と言う人もいるかも知れませんが、神の言葉である聖書はこう言うのです。『神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々の為には、神がすべての事を働かせて益として下さることを、私たちは知っています。(ローマ8:28)』と。このみ言葉の上に感謝の土台を築くべきです。

最後に「これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられること」とは何でしょうか。それは「礼拝」です。いつも喜び、絶えず祈り、すべての事について感謝する事とは、実は「絶えず神様を礼拝すること」を指し示しているのです。神様は真の礼拝者を求めておられます。》

◎お知らせ

※次回礼拝は、2月2日(日)です。通常通りです。また2月23日(日)の礼拝は、お休みします。次回「聖書の学びと祈り会」は、1月29日(水)です。